

こもれび狂言会

野村万作・萬齋 狂言の世界

国宝となる笑いの至芸。

90歳を超えなお舞台でより一層輝く人間国宝・野村万作を筆頭に、
古典芸能にとどまらず映像・舞台と幅広く活躍する

野村萬齋ら一門により狂言の魅力を余すことなくお届けします。
狂言師による解説もあり、初めての方も安心してご覧いただけます。
今年も保谷こもれびホールで愉快的な狂言の世界をお楽しみください。



番組

解説

「節分」

鬼・飯田豪
女・高野和憲

「柑子」

太郎冠者・野村万作
主・石田幸雄

「宗論」

浄土僧・野村萬齋
法華僧・深田博治
宿屋・福田成生

2026年

10月4日

15:00開場
15:30開演

タクトホームこもれびGRAFAREホール
(保谷こもれびホール) メインホール



撮影・政川慎治

特別企画

「より狂言を楽しむための事前ワークショップ」開催

狂言ってなんだろう？見どころどこ？という鑑賞のためのワンポイント知識は
もちろん、参加者の皆さんにも狂言の動きや台詞に挑戦いただきます！

講師 飯田 豪 (万作の会 狂言師)

8/3日
10:30開始

会場：1F リハーサル室 参加費：500円

申込開始：7/4日 10:00～

定員：20名(先着順) 対象：小学生以上

電話またはオンラインフォームからのお申込み

※詳細はホールホームページをご覧ください。



チケット料金 全席指定(税込)

一般 4,000円 / U-25 2,500円

中学生以下 1,000円 ※未就学児入場不可

チケット発売日

友の会先行…7/4日 10:00～

一般発売…7/11日 10:00～

※発売初日はいずれも窓口での取り扱いなし

※プレイガイド、詳細は裏面をご覧ください



演目紹介

「節分」

せつぶん
節分の夜、出雲大社へ年取りに出かけた夫の留守中に女が一人でいるところへ、蓬萊の島から来た鬼が現れる。美しい女に心を奪われた鬼は、蓬萊の島に流行る小歌を謡って言い寄るが、女が一向になびかないので泣き出してしまふ。その様子を見た女は、鬼に心を許したと見せかけて…。
強いはずの鬼の方がむしろ人間らしく描かれた演目です。女の気を引こうと鬼が謡う、艶やかな小歌が聞きどころです。

「柑子」

こうじ
太郎冠者は、昨晚主人から預けられた、土産物の珍しい三つ成りの柑子(みかんの一種)を持って帰るよう催促されるが、実はすでに三つとも食べてしまっていた。二つ二つ言い訳をするうちだんだん調子に乗ってきた太郎冠者は、ついには鬼界ヶ島に取り残された俊寛の話まで引き合いに出し…。
小品ながら、柑子を食べるリアルな表現、平家物語をひいた語りなど見どころの多い佳作です。太郎冠者の凝った言い訳をお楽しみ下さい。

「宗論」

しゅうろん
身延山から帰る途中の法華僧と、善光寺帰りの浄土僧が道連れになるが、互いに犬猿の仲の宗派と知り、自分の宗旨に改宗せよと言い争う。嫌気がさした法華僧は口実を設けて別れようとするが、浄土僧はしつこくついて来る。たまたまなくなった法華僧が宿に逃げ込むと、浄土僧も追って入り、今度は宗論(教義問答)を始め。二人は次第にむきになって…。
中世の宗教対立を背景に争う、浄土僧と法華僧の柔と剛の対照的な表現が見どころの名作です。泥沼化する争いの果ては？
二人の掛け合いの妙をお楽しみ下さい。

野村 万作 のむらまんさく



一九三三年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。文化功労者。日本芸術院会員。二〇二三年文化勲章を受章。
祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。三歳で初舞台。「万作の会」主宰。
国内外で狂言普及に貢献。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。また『月に憑かれたヒコ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺待』『榎山節郎』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。
観世寿夫記念法政大学能楽賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ニューヨーク・ジャパンスァイエティ賞、NHK放送文化賞等、多数の受賞歴を持つ。
練馬文化センター名誉館長。

野村 萬斎 のむらまんざい



一九六六年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。三歳で初舞台。
「狂言やる乃座」主宰。
国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『子午線の祀り』『能狂言「鬼滅の刃」』『ハムレット』『喜歌劇「こうもり」』ほか、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。
九四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。
芸術祭新人賞、優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、二四年度坪内逍遙大賞受賞ほか受賞多数。
東京藝術大学・日本大学芸術学部客員教授。石川県立音楽堂邦楽監督。
公益社団法人全国公立文化施設協会会長。

チケット料金 全席指定(税込) 一般 4,000円/U-25 2,500円/中学生以下 1,000円

※未就学児入場不可 ※車いす席をご希望の方は、会館窓口までお問い合わせください

チケット発売日 友の会先行 7/4(土) 10:00~(ホール窓口販売) 一般発売 7/11(土) 10:00~(ホール窓口販売)

※友の会先行・一般発売初日は電話・オンラインでの予約のみ、ホール窓口での販売・予約引取りはございません

プレイガイド

◆オンラインチケットサービス

ご購入・ご予約には無料の会員登録が必要です。



◆電話予約・ホール窓口販売

TEL:042-421-1919/受付時間 9:00~22:00

販売初日は電話・オンラインでの予約のみ、窓口での販売・引取りはございません。

- ◆チケットぴあ……………Pコード542-846
- ◆ローソンチケット……………Lコード32610
- ◆西村カメラ……………TEL.042-467-8167
東伏見駅北口前/定休日木曜日 ※一般のみのお取り扱いとなります。
- ◆まちテナ西東京……………TEL.042-452-7305
田無駅改札口/定休日なし ※一般のみのお取り扱いとなります。
- ◆ひばりテラス118……………TEL.042-452-5758
ひばりが丘団地/定休日火曜日 ※一般のみのお取り扱いとなります。

お問い合わせ タクトホームこもれびGRAFAREホール (保谷こもれびホール)

指定管理者:株式会社ケイミックスパブリックビジネス 〒202-0013 東京都西東京市中町1-5-1
開館時間:9:00~22:00 休館日:5月、8月、11月、2月の第2曜日(祝日の場合翌火曜日)、年末年始(12/29~1/3)

Tel.042-421-1919/Fax.042-438-7676

アクセス *専用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

- 西武池袋線保谷駅南口より、徒歩(所要時間約15分)
- 保谷駅南口バスターミナルより、バスで保谷庁舎下車(所要時間約5分) *系統 [吉66] の吉祥寺駅行きバスは保谷庁舎を通りません。
①(番乗り場) 西武バス三鷹駅行き [鷹21] ②(番乗り場) 西武バス吉祥寺駅行き [吉63]・田無駅行き [田41]
- 西武池袋線ひばりヶ丘駅より、はなバス第2ルートで保谷庁舎下車(所要時間約10分)
- 西武新宿線田無駅より、保谷駅南口行きバス [田41] で保谷庁舎下車(所要時間約15分)
- 西武新宿線東伏見駅より、はなバス第2ルートで保谷庁舎下車(所要時間約10分)
- JR吉祥寺駅・三鷹駅より西武バス保谷駅南口行き [吉63] [鷹21] で保谷庁舎下車(所要時間約30分)

